

授業科目名	幼児の心理学		科目コード	204010	
開講クラス	こども未来	コース	保育士・幼稚園	学 年	1 年
担当教員	非常勤講師		実務経験教員 (<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無)		
	実務経験内容 医療機関に心理師として 23 年に渡り勤務し、子どもから高齢者までを対象としたカウンセリングや支援に従事。 臨床現場での経験や実践を活かしながら、幼児期の経験や環境がその後の発達に大きな影響を与えることが理解できるような講義を行う。				
開講時期	<input checked="" type="checkbox"/> 前期 ・ 後期 ・ 通年 ・ 特別講義 ・ その他		授業コマ数	30 時間	
	<input checked="" type="checkbox"/> 必須 ・ 選 択 ・ 選択必須		単 位 数	1 単位	
使 用 テキスト1	書 名	実践に活かす保育の心理学			
	著 者	原口 善充 編書			
	出版社	ミネルヴァ書房			
使 用 テキスト2	書 名				
	著 者				
	出版社				
参考図書					
授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ 演習 ・ 実習 ・ 実験 ・ その他 ()				
<授業の目的・目標> ・ 乳幼児の心理発達過程に関する基礎的知識を理解する。 ・ 乳幼児期の発達に大切なことは何か、習得した心理学知見もふまえて考察する。 ・ 対人援助者として、それぞれの発達段階における心理的特性を理解したうえで子供への援助や保育について考える。					
<授業の概要・授業方針> ・ 乳幼児期は生涯発達の基礎になるという観点から、愛着、言葉、思考、認知、パーソナリティ等についての心理学の基礎知識を理解し、保育現場で活用できるよう、グループワークやロールプレイも取り入れながら講義を進める。 ・ 幼児期の家庭環境や愛着がその後の発達に与える影響などについて、実際の事例なども取り入れながら理解が深まるような講義を行う。					
<成績基準・評価基準> ・ 成績基準 優：80 点以上、良：70 点以上、可：60 点以上、不可：59 点以下 ・ 評価基準 授業態度、およびレポート得点を総合的に判断して評価する。 ・ レポート 50% ・ 科目終末試験 50%					

<使用問題集・注意事項>

- ・講義時に提示する
- ・必要に応じて随時、資料を配布する

<授業時間外に必要な学修内容、関連科目、他>

子どもの発達にとって大切なことは何かを念頭に、習得した知識や技術を実践の場で応用できるよう、子どもたちと触れ合うことができる課外活動やボランティアへの積極的に参加する。

授業科目名		幼児の心理学
回	授業内容	備考
1	講義の進め方についてのオリエンテーション	
2	心理学とはどんな学問か？こころについて考える①	
3	心理学とはどんな学問か？こころについて考える②	
4	知能の発達 知能とは何か？について理解する（知能の量的・質的発達について）①	
5	知能の発達 知能とは何か？について理解する（知能の量的・質的発達について）②	
6	ピアジェの思考の発達理論（感覚運動期）①	
7	ピアジェの思考の発達理論（感覚運動期）②	
8	ピアジェの思考の発達理論（前操作期；前概念期）①	
9	ピアジェの思考の発達理論（前操作期；前概念期）②	
10	ピアジェの思考の発達理論（具体的操作期；形式的操作期）①	
11	ピアジェの思考の発達理論（具体的操作期；形式的操作期）②	
12	振り返り・まとめ①	
13	発達の最近接領域とは？ ①	
14	発達の最近接領域とは？ ②	
15	家庭、保育園、幼稚園などにおける発達の最近接領域の重要性①	
16	家庭、保育園、幼稚園などにおける発達の最近接領域の重要性②	
17	行動主義からみた学習（レスポナント条件づけ・オペラント条件づけ）①	

18	行動主義からみた学習（レスポナント条件づけ・オペラント条件づけ）②	
19	学びの動機づけ（動機づけの基礎；マズローの欲求階層理論）①	
20	学びの動機づけ（動機づけの基礎；マズローの欲求階層理論）②	
21	振り返り・まとめ②	
22	動機づけと学習意欲（内発的動機づけと外発的動機づけ, 学習性無力感）①	
23	動機づけと学習意欲（内発的動機づけと外発的動機づけ, 学習性無力感）②	
24	幼児期の愛着の発達：愛着とその形成（愛着理論について）①	
25	幼児期の愛着の発達：愛着とその形成（愛着理論について）②	
26	幼児期の問題とその支援①-(1)（発達障害について理解する）	
27	幼児期の問題とその支援①-(2)（発達障害について理解する）	
28	幼児期の問題とその支援②-(1)（注意欠如・多動症；ADHD・自閉症スペクトラム症；ASD等）	
29	幼児期の問題とその支援②-(2)（注意欠如・多動症；ADHD・自閉症スペクトラム症；ASD等）	
30	振り返り・まとめ③	